

令和7年度

市内の平和イベント

文化会館たづくり

調布市平和展

7月31日(木)～8月6日(水)

詳細はピースレター裏面へ(担当:文化生涯学習課)

中央図書館

● 平和祈念読書事業

平和祈念「図書展」

7月30日(水)～9月15日(月・祝日)

図書館では毎年、戦争体験記や戦争に関する図書の展示と貸出をしています。

平和祈念公開「講演会」

8月9日(土)午後2時～4時

文芸講演会「平和と俳句を考えるー沈黙を拒む俳句」

講師:角谷昌子氏

会場:文化会館たづくり12階大会議場

定員:200人(当日先着)※手話通訳者あり

平和祈念公開「読書会」

8月7日(木)午前10時～正午

公開緑陰(りょくいん)読書会

『桜島』梅崎春生著

会場:文化会館たづくり6階602会議室

※事前申し込みが必要です。

申し込みについては市報7月5号をご覧ください。

西部公民館

平和フェスティバル

「テレビジョン収容所を語り継いで35年～
野村路子氏が伝える平和への希望」

8月9日(土)午後1時30分～4時

講演と中学生のダンスおよびクラシックミニコンサート

講師:野村路子氏(作家・テレビジョンを語り継ぐ会代表)

演奏:飯吉真子、飯吉まりあ、民谷香子、小堀由理
(ピアノ四重奏)

会場:西部公民館ロビー

※事前申し込みが必要です。

申し込みについては市報7月5号をご覧ください。



昨年度の様子



野村路子氏



昨年のコンサートの様子



第五中学校
ボランティアダンス部



田邊俊三郎さんの描いた
原爆の絵(原画)

郷土博物館

ギャラリー展
「再びあるまじき～田邊俊三郎さんが
絵にした広島での被爆体験～」

7月1日(火)～8月24日(日)午前9時～午後4時

調布市に暮らし、市内の原爆被害者の会(調友会)を
立ち上げた田邊俊三郎さんは、生前、広島での自身の
被爆体験を絵にし、国内外で証言活動を続けました。
本展では、田邊さんの描いた13枚の原爆の絵(原画)
を展示します。広島・長崎に人類史上初となる原子爆
弾が投下されてから80年、戦争の記憶が風化されぬ
よう、平和について考える機会となれば幸いです。

北部公民館

平和展示「市民が作った『東京大空襲』
紙芝居＋詩の朗読上映」

7月19日(土)～8月6日(水)午前9時～午後9時30分(月曜日休館)
上映日:期間内の土曜日、午後1時～、30分程度

紙芝居作品の展示と共に、登録団体トルヴェールによる同紙芝
居公演と詩の朗読(原真喜作「水ヲ下サイ」、谷川俊太郎作「生き
る」)の発表映像を、日程を限定してギャラリー内で上映します。

会場:北部公民館1階展示室



調布自分史の会制作
紙芝居「東京大空襲」

東部公民館

原ばくのをきいてみよう
「広島でのそのとき
～被ばく体験のリアル～」

8月2日(土)午前10時30分～11時30分

対象:小中学生とその保護者

内容:河野良彦さんが語る広島での被ばく
体験、田邊俊三郎さん作の原ばくの絵の解説
話し手:河野良彦さん(調布市原爆被害者の
会)、宮代一義さん(調布平和のつどい実
行委員)

定員:15人(多数抽選)

※事前申し込みが必要です。申し込みについては
市報7月5号をご覧ください。

ギャラリー展
「先生お元気ですか～
神代村に疎開した子ども
たちの手紙～」

9月2日(火)～11月24日(月・祝)

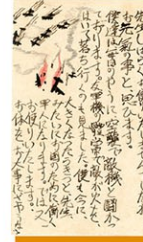
午前9時～午後4時

昭和19(1944)年に
戦争による空襲の被
害を少なくするため、
青南国民学校(現在
の港区立青南小学
校)の子どもたちが調
布市域に疎開しまし
た。当時、子どもた
ちが軍に入った学校
の先生に宛てて書いた手紙を展示します。ま
た、教師や元疎開児童が語る、戦後80年を
迎えての戦争・平和への想いにふれます。

郷土博物館

休館日:月曜(祝日の場合は翌平日)

会場:全て 郷土博物館2階ギャラリー



「疎開児童の手紙(第136信)」

平和に向けた取組

ちょうふピースメッセンジャー

市民の代表「ピースメッセンジャー」と
して、市内の中学生を被爆地に派遣
し、その後、平和の想いを広げていきま
す。令和7年度は広島に派遣します。



ピースメッセンジャー2024
(平和祈念像/制作:北村西望)

ちょうふピースメッセンジャージュニア

FC東京の夏のアウェイゲー
ム開催にあわせて、市内の小
学生を「ピースメッセンジャー
ジュニア」として派遣し、各地
にのこる戦跡巡りなど平和学
習を行います。令和7年度は
京都に派遣しました。

主催/調布市・FC東京

協力/株式会社渋谷不動産エージェント



ピースメッセンジャージュニア
2025

ちょうふピース部

これまでに任命されたピースメ
ッセンジャーたちが、派遣された
年度以降も継続的に活動がで
きるよう、令和5年度に「ちょう
ふピース部」を立ち上げ、活動が
始まりました。



ちょうふピース部

調布市国際交流平和基金

国際交流事業及び平和事業を進めるため、基金を設置していま
す。寄附に御協力いただける場合は、文化生涯学習課にご連絡く
ださい(☎481-7139)。

【令和7年度の基金充当事業(予定)】

・ピース・レターちょうふの発行

・平和派遣事業の実施

・ピースメッセンジャー、ちょうふピース部の活動 など

防災行政無線による黙とうの呼びかけ

防災行政無線で「黙とう」を呼びかけます。

呼びかけは、令和7年度ピースメッセンジャーの声で行います。

※緊急災害発生時等には中止する場合があります。ご了承ください。

●8月6日(水) 午前8時15分～ 広島原爆投下時刻

●8月9日(土) 午前11時2分～ 長崎原爆投下時刻

●8月15日(金) 正午～ 終戦記念日

●3月10日(火) 午後2時～ 東京都平和の日

日本非核宣言自治体協議会「親子記者事業」

市が加盟している日本非核宣言自治体協議会が、会員自治体の
小学生とその保護者を長崎市に招待し、現地での取材等を通して
「おやこ新聞」を作成します。

募集時期: 例年4月頃

実施主体: 日本非核宣言自治体協議会(長崎市平和推進課内)

施設紹介

市内には戦争や平和について学べる施設があります



1 平和の塔

市役所の前庭に、戦争で亡くなられた方々のご冥福(めいふく)を
祈り、平和の誓いを込めて建てられた「平和の塔」があります。
また、今日の平和が永遠に続くことを願い、平和祈念祭を毎年実
施しています。



2 東部公民館

京王線仙川駅徒歩8分、桐朋学園の南西にあります。
平和を守り続ける大切さを学び、考える事業と
して、例年、戦争体験をお聞きする講座、講演会、
平和関連展示、映画会、見学会などを実施してい
ます。



3 西部公民館

飛田給小学校の近くにあり1階は西部児童館です。毎
年夏には、平和についての講演とミニコンサート、さら
に地元の中生にも参加を呼びかけて『平和フェスティ
バル』を実施しています。また、年間をとおして、市民と
ともに平和を考えるための講座や展示を行っています。



4 北部公民館

神代中学校、上ノ原小学校の近くにあります。幅広
い世代の市民とともに様々な視点で過去の戦争や
今ある平和について考えるための事業として、講座
や講演会、フィールドワーク、関連展示など開催し
ています。



5 中央図書館

市内には11の図書館があります。全館で戦争や平
和に関する図書を所蔵しています。中央図書館で
は、平和祈念図書展示も毎年行っています。



6 郷土博物館

郷土の歴史や文化、自然、美術に関する資料を収集・
保管し、さまざまなテーマの展示・イベントを行っ
ています。戦時中の暮らしや空襲に関する収蔵資料を
常設展示やギャラリー展示などで紹介しています。
※館内燻蒸作業のため、10月9日(木)から10月16日(木)まで休館。



A 市役所前庭の平和都市宣言パネル

「調布市非核平和都市宣言」、「調布市民憲章」、「調布市国際交流
平和都市宣言」を掲載したパネルを市役所前庭に設置してい
ます。外国の方にも読んでいただけるよう英文でも表記しています。



B グリーンホール壁面の平和都市宣言パネル

令和元年度に「調布市非核平和都市宣言」、「調布市国際交流
平和都市宣言」を掲載したパネルをリニューアルし展示してい
ます。



C 掩体壕(えんたいごう)

調布飛行場は陸軍が使用したため、戦争中は何度も空襲にあ
いました。掩体壕は戦争中に戦闘機を空襲から守るための施設
です。コンクリートで天井を覆ったものや、天井のないものも作
られました。都立武蔵野の森公園内に掩体壕が残されており、
実際に見ることができます。